

皆さま、教主様ご巡教「京都・滋賀布教区信徒大会」、誠にありがとうございます。

教主様、本日は、遠方ご出座くださいましたこと、そして、「明主様の全く新しい救いの福音」についてご教導賜りますこと、誠にありがたいことと心より感謝申し上げます。

また、本日は、教主夫人であります岡田まゆみ様と、岡田真明教主補佐にご臨席いただいておりますので、ここでご紹介させていただきます。

奥様、教主補佐、恐れ入ります、どうぞお立ちくださいませ。

ありがとうございます。

さて、葵祭の頃を迎え、青モミジが初夏の訪れを告げる爽やかな季節となりました。

本日は、教主様をお迎えし、皆さまとご一緒に希望に満ちた大会をお許しいただきましたこと、心からお慶び申し上げます。

京都・滋賀布教区では、平成23年に「京都救世会館」で行われた「第4回海外信徒交流報告大会」に続いて、2度目のご巡教をお許しいただきました。

私は、明主様が今、教主様を通してお導きくださっている、「夜昼転換」した全く新しい昼の時代のご神業において、また一つ新たなステージへとステップアップさせてくださる道をお与えくださっているのではないかと、本日の大会を大きな喜びをもって受け止めさせていただいております。

明主様に結ばれて「夜昼転換」の福音をお受けした私共は、今、神様がご自身の子供たるメシヤとして人類を新しく生まれさせてくださるという、「明主様の全く新しい救いの福音」を知るものとしていただきました。

そして、心新たに新年度を迎えた先月、私共①之光教団は、全国全ての布教所に「大光明」のご神体奉斎をお許しいただきました。

私共は、この営みを通して、自らのうちに、そして、全てのものの中に、大光明輝く光と共に神様が生きておられる天国が実在していることに、より一層心を向ける養いを賜っています。

こうした中で、京都・滋賀布教区の皆さま方は、本日、教主様をお迎えさせていただくに当たり、安藤布教区長を中心に、「真善美」配布を力とする「会う、聞く、浄霊」をはじめ日常生活の全てを、神様の赦しをお受けして共に天国に立ち返るための大切なご神業奉仕として、「祈りの言葉」による

“想念の御用、をもって取り組んでこられたと伺っております。

私は、皆さまと共に、本日の大会を大きな力として、全てが神様のあふれんばかりの光に満たされていることを思い、どのような時も神様が赦しをもって現れてくださっていると信じていく「想念の革正」に、ひたすら努めさせていただきたいと思わせていただいております。

また、先日5月1日、聖地における「月次祭」にてお伝え致しましたように、私共は、教主様のご教導を賜り、来月お迎えする極めて意義ある「地上天国祭」を期して、祝詞奏上における明主様の御神名を「メシヤの御神」とさせていただくことと、併せて、それに伴う「善言讚詞」の一部改定をお許しいただきました。

私は、このたび、「メシヤの御神」という明主様の御神名をお許しいただいたことにつきまして、例えようもない大きな嬉しさを感じると共に、一方で、より一層身の引き締まる思いが致しております。

教主様は、「御神名・善言讚詞の改定について」という「メッセージ」をくださいましたが、私共が「メシヤの御神」という御神名をお唱えさせていただけることについて、

その御神名が皆様の中に存在しているからであります。

メシヤの御名にある赦しが皆さまの全身の細胞の中に、そして、すべてのものの中に存在しているからです。

私も、皆様とご一緒にメシヤの御名にある赦しをお受けし、すべてのものと共に赦され、救われたものとして、大光明輝く天国に立ち返らせていただきたいと思います。

と、このようにお示しくださっています。

先般の「春季大祭・豊穰祈願祭」の折には、教主様は、

主神は今、私どもがメシヤの御名にある赦しを信じ、その赦しを受け入れるか否か、そのことを一人ひとりに尋ねてくださっているような気がいたします。

と、ご教導くださいました。

私は、「大光明」のご神体奉斎と、このたびの「メシヤの御神」という御神名の改定をお受けすることを通して、私共が、自らのうちに初めから存在している神様の光と「メシヤの御名」に少しでも目覚め、その「メシヤの御

名」に込められた愛と赦しと救いのみ心を素直にお受けさせていただくことを、神様が今私共に強く促してくださっているように受け止めさせていただいております。

そして、その神様が今、「光のお言葉」をもって、私共に臨んでくださっていると、私はどうしてもそのように思えてなりません。

神は光にして光のあるところ
平和と幸福と歓喜あり
無明暗黒には
鬭争と欠乏と病あり
光と栄えを欲するものは来れ
来りて

メシヤの御名を
奉称せよ

さらば救われん

私は、神様が、「メシヤの^{みな}御名」にある赦しをもって、私共を天国に迎え入れるために呼び掛けてくださっている「光のお言葉」を、心からお受けさせていただき、至らない自分であったとしても、それでも全身全霊を込めてお仕えさせていただかなければと、今強く思わせていただいております。

私は、①之光教団の全ての専従者、信徒の方々とご一緒に、「真善美」配布を力とする「会う、聞く、浄霊」を中心に、日常生活の事柄全てを、「祈りの言葉」による“想念の御用、”とさせていただき、この神様の呼び掛けに大いなる喜びと畏れ多さをもってお応えさせていただく道を、一生懸命歩ませていただきたいと思います。

そして、来月6月15日、「メシヤの^{みかみ}御神」を奉称させていただける極めて意義ある「地上天国祭」を、私は、全国の皆さまと共に心いっぱいの喜びと感謝をお捧げし、神様をお讃え申し上げるみ祭りとおさせていただきたいと存じます。

私共は、このたび賜りました教主様の「メッセージ」と共に、本日、教主様より賜りますご教導を、まず心の中心にお受けし、“明主様の全く新しい救いの福音、”をどうしてもお伝えさせていただきたいのですという“①之光教団の布教、”に、大いなる希望をもって臨ませていただきましょう。

本日も、こうしてご一緒に、明主様と共にあるメシヤの御名^{みな}にあつて、主神にお仕えさせていただいておりますことに感謝申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。